



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address: 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan
Mail : uenoashiya@kbd.biglobe.ne.jp
URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

- 国際協会会長 A・シヤナヴァスカーン (インド)
 "Together for a Better World 「より良い世界のために、共に」"
- アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウオン (香港)
 "Make a Great Impact" 「大きなインパクトを起こそう」
- 西日本区理事 鶴丹谷 剛 (神戸クラブ)
 "Connecting Local to the World with YMCA"
 「つなげよう地域と世界、YMCAと共に」
- 六甲部部长 小野勅紘 (西宮クラブ)
 「一人は万人のために、万人は一人のために」
- 芦屋クラブ会長 柏原佳子
 「豊かなクラブライフを！」

今月の聖句

ああ、神の富と知恵と知識のなんと深いことか。だれが、神の定めを究め尽くし、神の道を理解し尽くせよう。

<ローマの信徒への手紙 11章33節>

10月第1例会(移動例会)

と き: 2024年10月16日(水) 18:00~21:00
と ころ: 「萬庵」菓子匠・虎屋吉末
司 会: 濱瀬真知子ワイズ

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 開会点鐘 | 柏原佳子会長 |
| 2. ワイズソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 羽太英樹ワイズ |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 柏原佳子会長 |
| 5. 「虎屋の歴史など」 | 萬田悠介氏 |
| 6. 和菓子作り体験 | 全員 |
| 7. 食前感謝
会食・懇談 | 上野恭男 |
| 8. 第2例会議事録の承認
各事業委員の報告 | 柏原佳子会長
各事業委員 |
| 9. YMCA報告 | 横山徹太郎担当主事 |
| 10. ニコニコ献金報告 | 坂東幸子ワイズ |
| 11. 誕生日祝い
横山徹太郎 | 柏原佳子会長 |
| 12. 閉会点鐘 | 柏原佳子会長 |

- | | |
|----------|-----------|
| 会 長 | 柏原佳子 |
| 直前会長 | 上野恭男 |
| 副 会 長 | 田辺征一・福原吉孝 |
| 書 記 | 上野恭男 |
| 会 計 | 桑野友子 |
| 監 事 | 島田 恒 |
| 担当主事 | 横山徹太郎 |
| 六甲部EMC主査 | 島田 恒 |

10
Oct., 2024
328号

オリーブの木



会長 柏原佳子
オリーブの木の枝に緑色の実がぶら下がっています。1年でワンサカ伸びて風にユサユサ揺れながら枝にしっかりと23個も頑張っています。この暑い夏にも負けず収穫

の日をいつにしようかと考え中です♪細いガラス瓶に詰める日はいつになるでしょう！楽しみです。花言葉は「平和と知恵」、芦屋クラブの人数がオリーブの実の数と同じになる日を夢見ています。と同時に私の所属する教会の事も祈らずには居られません。お隣の檸檬の木は、3年前にひとつ溢れる果汁の実をつけた後は、ダンマリを決めています。春先には、数え切れない花を咲かせ期待を膨らませたのですが、雨と風の度にハラハラと落ちてしまいました。それだけにオリーブへの期待は高まっています。この岡本界限では、ちょっとお洒落なお店や建物の玄関に多く見ることが出来ます。今年は、暑かったせいか実がなっている木はあまり多くみられませんが、復活をも意味するオリーブの木は、未来を明るくします。

オリーブは、旧約聖書の「ノアの箱船」に記載されています。ノアの放った鳩がオリーブの枝を加えて帰ってきます。このことから鳩と共に「平和と知恵」の象徴とされるようになったと伝えられています。「平和と知恵と復活」は、私達の祈りでもあります。緑豊かな葉に守られて摘み取られる日を待っている我が家のグリーンオリーブを紹介させていただきます。

9月例会会集計		
第1例会出席	例会出席率	BF切手 累計 gm
メンバー 13名	出席者 13名	
メネット 名	メイクアップ 名	ニコニコ 9,501 円 累計 22,901 円
コメント	合計 名	
ビジター 1名	在籍者 18名	
ゲスト 2名	(内広義会員1名)	
合計 1名	出席率 72.2%	

9月第1例会報告

日時： 2024年9月18日(水) 19:00~21:00

場所： ホテル竹園芦屋 (敬称略)

参加者： 柏原佳子会長・上野恭男・桑野友子・大岩雅典
島田 恒・田辺征一・堤 清・中島かおり・濱瀬眞
知子・坂東幸子・福原吉孝・船橋知子・(各ワイズ)、横山担当主事

ゲスト： 坂上広樹氏(スピーカー)・大西謙氏(島田友人)

ビシター： 大野智恵(神戸ポートクラブ)

今回、残暑が厳しい中、第一例会を開催した。柏原会長の開会点鐘、ワイズソング斉唱しゲストビジター紹介の後、会食、懇談の中、ゲストスピーチとなった。今回の演者は、樹木医、農学博士、庭樹園経営者、森林セラピストである「坂上広樹」氏の講演となった。



テーマは「緑が人に与える健康効果について」であった。自然、森林、樹木等の緑がどのような影響があるのか・・・人は森林浴を受けているといい香り、匂いでホッとし、落ち着き、安心感が

ある。樹木や緑には人を気持ちよくさせる素晴らしい力を持っている。それを実証する研究データを紹介しながら緑の効用を説いて頂いた。緑が与えてくれる健康への影響は、計り知れない。人間は長く自然とともに生き、緑の多い自然の中で過ごすのが似合っている。人びとが庭に木を植えたり、庭園を造ったり、お部屋に草花を飾ったり鉢植えを置いたりすると気持ちが落ち着くのは緑の健康効果であろう・・・

TV番組で、東京タワー、霞が関ビルを設計した著名な建築家が、終の棲家を長崎県の離れ小島の森の中に自宅を設計し、緑の中で余生を過ごしている。演者と同様に緑の中では過ごすのは、人間にとって大切であり心の健康に素晴らしい効果があると述べている。

今回、柏原会長が持参して頂いた、各テーブルに可愛い草花が飾られた。見るだけで落ち着きホッとした気分にしてくれるのも緑の効用であろう・・・生活空間の中に庭木、草花を身近なものとして付き合っていくことが、心の健康により大切と改めて感じる次第である。



質疑の時間では各テーブルからご自身の植木、草花の維持管理法などの質問があった。丁寧に回答して頂き講演を終えた。色々緑に対する気づきがあり、樹木、草花と大切に付き合っていきたいと思った。

福原吉孝

木々と花々の暮らし

9月の第1例会、樹木医の坂上広樹氏の、「緑が与える健康効果について」のお話を私自身の生活を、振り返りながら聞いていました。

思い出せば、29年前、阪神大震災にみまわれた神戸はあの日を境に、1日にして、灰色の街並みになっていました。

今までの価値観も激変し、私はその翌年、長年の夢であった、週末田舎暮らしを始めました。毎週末、雑木、雑草だらけの山地を、耕し少しずつ花や木々を、植え始めました。

そのころアメリカの絵本画家ターシャ、チューダーが、バーモント州の森の中にナチュラルガーデンの庭作りを、しているのを知りそれにあこがれての始まりでした。

では花々の1年を、ご紹介しましょう。



花の色はなんて、自然にできているのでしょう。

花の咲かない寒い冬も終わり2月にうす色の少しうなだれて咲くクリスマスローズ、3月黄色のミモザの花、南仏は黄色の世界、ミモザ祭りが春を告げます。そして、春

の香りのカロラインジャスミン、4月白色の水仙、利久梅、山には、こぶしも咲いています。初夏 5月はピンクのバラ、そのそばでジキタリスが寄り添っています。

6月梅雨のひととき紫色のアジサイ、花しょうぶ、ジャーマンアイリスこの季節にふさわしいみずみずしい紫。そして、夏には真っ赤なベルガモット、フロックス、秋風が吹くころに最後に紅色のパイナップルセージが咲き乱れます。



これこそまさに緑と花々の1年自然免疫の重要な役割を担うナチュラルキラー細胞で溢れています。又、刈り取られた雑草、花々の捨て場所は、鹿たちのミッシュラン 1つ星レストランとなっているのです。

さあ、今週末も、花々に会いに行きましょう！

濱瀬眞知子

京都部部会に参加しました

9月7日(土)は快晴で暑い日でしたが、柏原会長、桑野ワイズ、上野の3人で京都部部会に参加しました。

京都ウエスティンホテルでの開催で、京都駅よりホテル専用バスに乗り30分ほどで到着しました。

今回の京都部部会では、来年6月の鶯丹谷理事期西日本区大会のアピールが大仕事でした。

アピールタイムは3分間とのこと、鶯丹谷理事、美崎実行委員長のアピールに続き、柏原会長が西日本区大会の前日に開催されるゴルフ大会のアピールをしました。今回は、組織的



なアピールの取り組みはしませんでした。個人参加者の協力によるもので、経費節減につながりますので、今後も各部会に六甲部より参加してほしいと思いました。

金屏風が並ぶ舞台に和太鼓が響き、さすがに京都らしい開幕です。毎回趣向は違っても、会長をととも大切にされ働く事に意欲と楽しさを経験する場とした部会に感心します。15クラブがそれぞれにこの日ばかりは楽しさを爆発させている様はお見事でした。5時間を超える長い長い京都部部会、お疲れさまでご座いました。

上野恭男

そろそろご挨拶をいたしたく

◆何時の間にか9年近く《総計110号》が経ちました。私にとってはとてつもなく長期間のブリテン投稿でした。何でもない出来事、体験、など感じたまま好き勝手に【私が魅せられた】事。《カントリーミュージック・ジャズ・ワイン・スコッチ・カクテルの話・バラの歴史・近代建築の話》など。うさん臭い【ウンチク】(ただの知ったかぶり)にてスタートした頃を思い出します。《かような愚作エッセイ》をご愛読頂き本当にありがとう御座いました。残念ながら老齢化で脳内写真に空白部分がチラホラと…。心身共に老い果てました。哀しきかな 私の古巣《VAN》でのスピリット《YOUNG・AT・HEAT》の感性すら何処かえ行っていました。皆さまのご健勝と【あの芦屋クラブ】の益々のご発展を心より祈念致しております。◆編集でいつもご尽力頂いた桑野様。柏原様。感謝！感謝！です。

【篠坂幸彦】

感謝を込めて！

篠坂様が芦屋クラブに入会されたのは、芦屋クラブ15周年、島田 恒会長期でした。いつでしたかしら、その日の私の服装を覚えておられて驚きましたが、石津健介氏のファッション関係に従事されていたことなるほどと納得いたしました。ダンディという言葉そのままにスマートな着こなしに心引かれた方は少なからずおられたと思います。

10年以上の年月をご一緒に過ごし、文学少年、少女と並べられた事も光栄に思っております。神戸YMCAチャリティコンペ(千刈)には参加されなくても、賞品に多くのワインを寄贈され、お庭のように慣れ親しまれた茶店から突然顔をのぞかされました。又グリーンの向こうに立っておられ、こんな処に彫像があったかと驚いた事も楽しい思い出です。

実直なご性格は、様々な活動がご自身の思うように出来なくなったご無念さを、まさに篠坂さまの自分史を彷彿とさせられる様な様々な分野をブリテンのエッセイに込めていただきました。

この夏の暑さが少し体力気力を失わせてしまわれたのかと案じておりました。

お洒落な方だけにご自身の老いを必要以上に厳しく感じられているのだと思いますが…想いは解るような気もいたします。退会されて尚、多くのファンを魅了されたエッセイに心から感謝申し上げます。本当にお疲れ様でございました。有り難うございました。

「あの芦屋クラブ」会長 柏原佳子

毎月の投稿、有難うございました！

編集者の特権として、毎月1番に篠坂様のエッセイを読ませて頂きました。多彩な趣味と豊富な知識、洒落な文章、建築・花々・鳥・スポーツ等々バラエティーに富んだ写真、毎月が楽しみでした。福原ワイスからは「篠さんのエッセイが愉しい」と毎回のように言われ、他にもファンは多くおられました。私自身はブリテンの1/8頁を確保出来る安心感は大きく、写真の配置をあれこれ考える毎月でした。これからも芦屋クラブの会友として、時々投稿をしてくださいね。本当に有難うございました。

ブリテン編集 桑野友子

《我が少年スポーツ時代》

◆大昔(70年前)の個人的な自慢話になってしまいました。お許し下さい。

◆中学時代、体育の先生からいきなりバスケットボール部に入部せよ。と勧誘があり。大阪の中学校では当時バスケットでは名門で男女共2年連続の優勝！《男女混合で練習していた。》まだ野外コートが普通の時代でした。我が中学校は一階の天井が低い(ロングパス、ロングシュートが不可)しかし床貼りの雨天・体育館だった。私は仲間数人と府立高校に進み仲よし男女同級生は、各自私立高校などに別れたが、それぞれ、その後活躍したものだ。ボールは手縫いで表皮には、保革剤を塗り、中はゴムチューブ入りの、その都度空気を入れるクラシックなボールでした。下級生はその管理運搬を当然の如く役目としていました。

◆私はラッキーにもレギュラーでなかったが高校1年生の時、【秋田県】での全国大会・インターハイに大阪代表で参加した。又2年生では【神戸】でのインターハイにも大阪代表として参加した。その後2年生でレギュラーとなり、◆【フィリピン代表のYMCA 高等学校】との【親善試合】が国際級で新築の【大阪府立体育館】《今の相撲大阪場所》が開かれている処。で開催され大阪選抜チームとして2年生レギュラーで選抜され出場したビッグな思い出が…。



試合開始前に選手紹介が《1人1人がランニングシュート》で行う米国プロ並の格好良いものだった。試合結果の新聞スクラップも残っているが…実に懐かしい。《まるで大人と子供の様に身長差が大きく、惨敗だった。》

◆大学・入試》が終わったその日の夜【大阪駅・山陰本線プラットフォーム】に一人の高校生がいた。団体チームは既に昼から出発していたが彼だけ間に合わなかつたらしい。【兵庫県国民体育大会】(冬季・距離15キロ少年の部)の参加選手の私だった。◆高校でバスケットボール兼スキー部であった為、大阪のスキー大会で2年連続優勝した為急遽、栄えある国体選手に。今で言う二刀流だったので。スキー部入部の経緯は毎年年末年始にかけての長期合宿が魅力でこれ又スキー好きの社会と国語の先生(部の監督・顧問)2人にバスケットで鍛えられた脚力に目をつけられた様だった。◆長野・新潟県を股にかけ自分の庭の様に駆け巡る私の姿がなつかしい。妙高高原から赤倉観光ホテルへの練習コースは毎日行いホテルフロントで折り返し証明のスタンプを。ああ思います。◆国体記録は恥ずかしい記録だが《棄権者》が多いく中でゴール手前から200Mはスキーを履いたまま這う様【ホフク前進】にて【完走】した。(両足とも残り1キロあたりから何度も痙攣だった)◆宿舎到着《神鍋高原》0時過ぎから《ワクシング》《積雪量雪質》、《早朝からの最調整》などあの強行では、やはり……。でも参加に意義あり。ゴール後に兵舎で救助自衛隊員に一口頂いたカビの生えた私だけのブドウ酒？の味が忘れられない。..あ〜あ青春だ。◆この様な【大きな大きな思い出】を作ってくれた親にこの年になって感謝なんて……。遅すぎますね。でも有難う。

【篠坂幸彦】

『 聖句 読み説き 』

これはパウロの改心経験の中での実感であった。キリスト教徒を迫害する先頭にあったパウロは地方都市のダマスコへと足を延ばす。その途上で「サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか」と語りかける復活のイエスに出会い、異邦人伝道の幻を受け、生き方の方向転換を迫られる。これはパウロ自身も驚く事件であった。神の計画が人の理解をはるかに超えていることを思い知らされ、神の富と知恵が無限で、かつ無償の愛であることを悟るパウロであった。計り知れない神の計画に感謝すること、それは永遠なる神の栄光を信じることだと、パウロはこの手紙で読者に語るのである。 羽太英樹

2024年9月第2例会議事録

と き： 9月25日(水)18時30分～時20時

と ころ： 芦屋市民センター204号室

参加者： 柏原、上野、大岩、桑野、島田、田辺、濱瀬、福原、横山担当主事

第2例会議事・報告

◆第1例会、今後の予定

- ・10月16日(水)「萬庵」菓子匠・虎屋吉末で和菓子造り体験。H・竹園使用不可のため、会場移動例会
時間：18時～20時30分 会費は通常例会と同額
- ・11月20日(水)ゲストスピーカー
「阪神間で一番面白い会社を目指して」
- ・12月18日(水)第2例会 17時～ H・竹園会議室
クリスマス会オークション出品整理
- ・12月23日(月)クリスマス例会 18時～H・竹園・飛鳥の間
エンタテイナー：「チンドン屋」東西屋で決定。
会食費は8,000円(フリードリンク)で交渉済み
姫路グローバルクラブが参加される
- ・2005年1月例会 スターティングオーバー BBB出演

◆六甲部部会

日時：11月2日(土)

場所：H・ヒューイット甲子園

- ◆9月4日(月)メネット委員会に柏原会長参加
メネット協賛金10,000円送金

- ◆8月会計報告が桑野会計よりあり承認
例会会費は9月より、3,850円とする

- ◆桑野ファンド委員よりジャガイモファンドの経過報告

- ◆YMCA 報告 横山担当主事

YMCA留学生支援の依頼に2点の協力品があり、濱瀬ワイズに依頼。

- ◆チャリティラン協賛金

クラブより20,000円(予算計上済み)

個人献金3,000円：柏原、上野、大岩、桑野、島田、福原、坂東各ワイズが協力

文責 書記 上野恭男

編集後記： ◆〇〇の無い日は有っても、大リーグ大谷翔平のニュースを見ない日はありません。TVや新聞、活躍を見聞きすることが1日の始まりです。◆9年間に亘って掲載された篠坂氏のエッセイ今月号が最終となりました。本当に有難うございました。◆やっと秋らしくなりました。スポーツに読書、食欲の秋を楽しみましょう。 桑野友子

萬田悠介氏のプロフィール



2003年関西学院大学卒業。中学部時より10年アメリカンフットボールに所属。2翌年より、5年半京都、株式会社『与楽』森正人氏に師事。丁稚奉公を卒業し2010年より虎屋吉末に就任。2019年代表となる。『モノ作りは人作り』をモットーに、職人業一筋。温かさ、細かさ、心遣いを掲げ、日々精進を目指しています。

YMCA ニュース

YYY フォーラム「市ヶ原 わいわいわいハイキング」

2024年9月21日(土)、2024年度神戸YMCA第1回YYYフォーラム「市ヶ原わいわいわいハイキング」が無事終了しました。YMCA職員や、ワイズメンズクラブ、委員の方々など32名のお申し込みがあり、本日は28名の方々にご参加いただきました。天候にも恵まれ、ハイキングや交流プログラムで皆さまとのつながりを感じる機会となりました。



なお、第2回YYYフォーラムも予定しております。

■2024年度神戸YMCA第2回YYYフォーラム

■2025年1月18日(土)

日程が近づきましたら詳細をご案内いたします。

神戸YMCA 学院専門学校ホテル学科 夏季実習

毎年7月の2週目から、約1か月半の実習があります。

1年生にとっては初めての实習であり、2年生にとっては最後の実習でした。学生たちは、それぞれの目標に向かって懸命に取り組みました。

2年生の1人は、

海外実習を経験してきました。ニューヨークから車で3時間ほどに位置するフロストバレーYMCAで、



キャンプリーダーとして2ヶ月間、活動しました。異国の大自然で子どもたちと触れ合い、多くのことを学んで帰ってきました。かけがえのない経験です。

担当主事 横山徹太郎